

健康管理センターだより

36号 2023年4月1日発行

喫煙に関するアンケート調査結果



アンケート回答状況

令和4年の学生健康診断と併せて、喫煙に関するアンケート調査を実施しました。有効回答者（率）は1,760名（93.3%）でした。

学生の喫煙状況



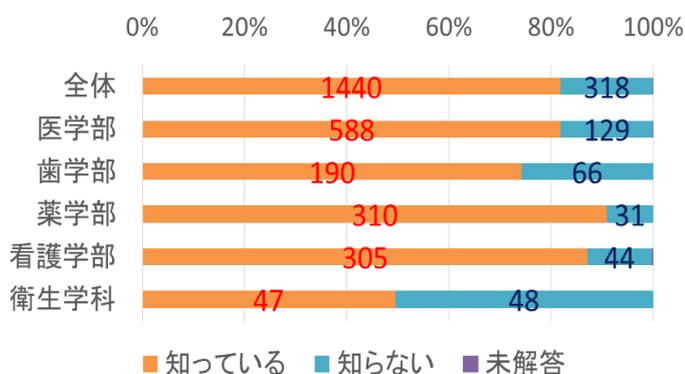
本学学生の喫煙者（率）は、全体55名（3.1%）、男性47名（5.9%）、女性8名（0.8%）でした。学生の健康白書2015によると、6年制学生の喫煙率は全体3.52%、男性5.01%、女性0.86%であり、本学学生全体の喫煙率は低いものの、性別では男性の喫煙率が若干高く、女性も同等なのが現状です。学部毎では歯学部の喫煙率が7.8%と高く、全体の喫煙率が上がっています。

敷地内や周辺での喫煙、ポイ捨てについて

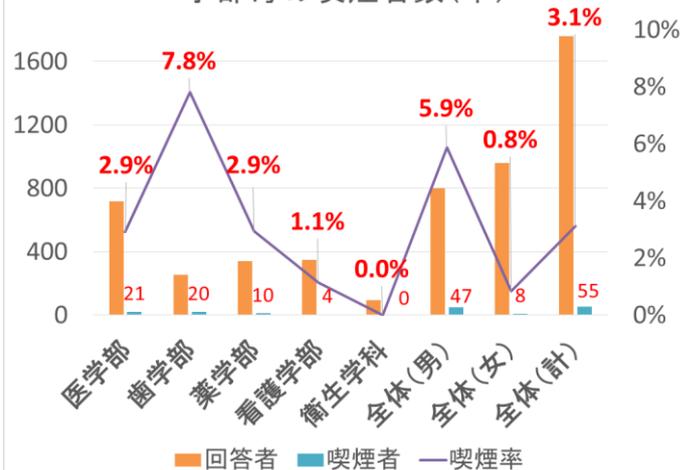


大学・病院敷地内は全面禁煙であることを「知っている」は全体で1440名（81.8%）でした。一方で、大学敷地内や周辺での喫煙やポイ捨てがあることを「知っている」と884名（50.2%）の方が回答しています。喫煙者のマナーやモラルが問われています。

大学敷地内・病院敷地内の全面禁煙：学部別



学部毎の喫煙者数（率）



禁煙に向けて

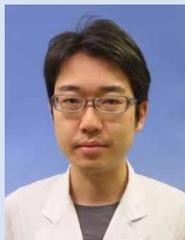
大学・病院敷地内は全面禁煙であること、病院機能評価においても禁煙が重要視されていることから、学生は実習前に禁煙することをお勧めします。禁煙やポイ捨てを知っていて、気になる学生も多いので、「健康管理センターに相談してみたら？」と声をかけてください。喫煙者のうち、23名（41.8%）の方は禁煙を希望していますが、煙草に含まれるニコチンには依存性もあり、本人の意思だけではやめられない現状もあります。健康管理センターでは禁煙支援を行っています。この機会に禁煙にチャレンジしてみませんか？

職員・学生向けの附属病院の禁煙相談外来は、禁煙内服薬出荷停止のため休診中ですが、内丸メディカルセンターではその他の補助薬を処方し実施しています。ぜひ活用してください。

内丸メディカルセンター
禁煙外来（保険適応・完全予約制）
第1・4土曜日 9:00~11:30
電話番号：019-613-6111（患者サポートセンター）
※禁煙外来受診希望とお伝えください



学校医からのご挨拶



内科学講座消化器内科分野
永塚 真

今年度から学校医を務めさせていただきます、
内科学講座消化器内科分野の永塚（えいづか）真です。
学校医として健康診断はもちろんです、内科医としての知識に基づきながら、
他の学校医である内科学講座腎・高血圧内科分野の吉川和寛先生、神経精神科学講
座の山家健仁先生、大学や健康管理センターと協力しながら職員、学生の健康管
理のお役に立てるように尽力いたします。
宜しくお願いいたします。



内科学講座腎・高血圧内科分野
吉川 和寛

2023年4月から学校医を拝命しました。2000名にもおよぶ本学医学部・歯学
部・薬学部・看護学部の4学部の学生および大学院生、関連専門学校の学生の皆
様の、健康管理などの業務を担当させていただきます。私の専門は腎臓内科学で、学
問・診療科の特性上、常々「全身を診る」ことが必要とされ、実践して参りまし
た。学校医の業務はまさに全身管理であります。皆様が健やかな学生生活を過ご
すお手伝いができるよう努めて参ります。
何卒よろしくお願い申し上げます。



神経精神科学講座
山家 健仁

本年度も引き続き学校医を担当いたします、神経精神科学講座の山家健仁と申しま
す。日常臨床・研究においては主に児童・思春期・青年期における精神医学分野を担
当しています。学校医の職務としては学生の精神保健を主に担当いたします。平成
31年度から学校医を継続しておりますが、カリキュラムに応じた生活の変化や、高
い水準での知識・技術を求められるなどの学生が受けるストレスも大きく、これま
でも健康管理センターに精神的不調で相談に来られた学生も少なくありません。学生が
心身共に健康で充実した学校生活を送り、それぞれの分野で活躍する医療人となる
よう助力したいと思います。よろしくお願い申し上げます。
何卒よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍だからこそ人との関わりを大切に!!

新型コロナウイルスの発生から、影響下での生活が当たり前になるくらいの時間が経ちました。現状では感染
状況が落ち着き始め、5月から感染症法上の位置づけが「5類」に移行することで、少しずつ発生前の生活に移
行する兆しが見えています。

しかし、元の生活に戻るまでには時間が掛かる見通しの中で、私達の生活の安定を支えている人との関わり（交
流やコミュニケーション）への影響も持続しています。4月から新年度を迎え、取り巻く環境の変化に適応する
うえで、周囲の人との安心した関係構築や維持が重要になりますが、人との関わりに影響がある状況下では、関
係構築に時間が掛かることや、理解が進まないままに緊張した状態が持続することで体調の変化や、コミュニケ
ーションのズレによる関係悪化やトラブルなどが起こりやすくなります。自分も周囲もそのような状況に身を置
いていることを理解し、困った時には早めにサポートを得ることや、周囲へのサポートの提供を心掛けましょう。
また、制約のある状況だからこそ、普段以上に人との関わりの時間を大切にしてください。

健康管理センター相談室では、学生の皆さんの相談に臨床心理士が対応しています。
お困りのことがあれば、気兼ねなくご相談ください。

相談申込アドレス：shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp

